

インタビューを通して人と職の出会いのプロセスをみる

- キャリア発達理論をもとにしたモチベーション循環サイクル -

立命館大学大学院
応用人間科学研究科
対人援助学領域
家族機能・社会臨床クラスター
中西 真美

本研究の主題は、人が「仕事（働くこと）」と「職業選択」をどのようなプロセスを経て意味づけていくのかを探ることにある。また、そのプロセスにおいて、どのような心的動向が働いていたのか、現在仕事を持ち、長期にわたり継続して働いていける人間の原動力が何であるかを探ることを目的としている。

そこで、キャリア発達のなかにおけるモチベーションの動きが影響しているのではないかと考え、人と職が会うプロセスを中心にみていく必要があった。

具体的な方法としては、現在仕事を持ち、長期に渡り（3年以上）継続して働いている6人に、その職と出会うまでのプロセスについて半構造化インタビューを行い、逐語的に文字化して記録した。混沌とした語りの中から何らかの秩序を見出すために、KJ法B型文章化を行った。その後、時系列的にまとめることで、個々の仕事に対する思いや数々の岐路での選択で仕事に影響したであろう要因や環境を導き出し、内容ごとにカテゴリー化し、整理した。

その結果、意欲的に継続して、職に就いている人には、共通したキャリア発達過程でのカテゴリーがみられた。また、そのキャリア発達過程は、モチベーションと刷り合わせることによって、一定の内発的モチベーションと外発的モチベーションの循環サイクルを伴いながら移行していくということが明らかとなった。この外発的モチベーション発生時が、キャリア教育などの周囲からの働きかけの効果が顕著に現れやすいのではないかという結論に至った。